

# セーラーカラーブルゾン 作り方



- セーラーカラー・ブルゾンカラー・スタンドカラーの3種類の襟で作れる、男女兼用ブルゾンです。
- 箱ポケット風のポケットは本格的な縫製ではなく、初心者の方でも縫いやすい作りになっております。
- すべて縫い代込みとなっておりますので切り取ってそのままお使いいただけます。
- 「わ」の表記以外、指定の数字の長さとその他の箇所は縫い代1cmがパターンに含まれています。
- なるべくロックミシンの併用を推奨しますが、家庭用ミシンのみでも作製できます。
- 説明文にある「端を処理します」とはロックミシンorジグザグミシンで端をかがることです。

※ こちらのパターンを使用して作られた作品については、委託販売・ネットショップ・オークション等、個人の範囲内に限り自由に販売していただいて構いません。

※ パターン及び仕様書自体の中古販売・複製販売は、固くお断りさせていただきます。ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

## ★出来上がり寸法(cm)

	70	80	90	100	110	120	130	140	150
身巾	30	32	33	34	36	37.5	38.5	41	43
着丈	31.5	34	37.5	41	43.5	47	50	53	55.5
袖丈	24	27	30	34	37	41	45	49	52.5

※出来上がり寸法は型紙を計測したものです。

## ★必要用尺(cm)

	70	80	90	100	110	120	130	140	150
160cm巾 ニット生地	45	45	50	50	70	80	90	100	110

※この他に付属生地が巾×20~30cm程必要です。

※生地の上方向・柄合わせがある場合はこれより多めに用意してください。

## 用意するもの

- ニット生地…  
薄手~厚手のニット生地
- 付属生地…  
スパンテレコ、  
スパンプライスなど
- 接着芯
- スナップボタンorボタン

## 準備

- ・ポケット口布
  - ・ポケット補助布
  - ・前身頃見返し
  - ・裾リブ
  - ・スタンドカラー
- } 接着芯を貼っておく

- ポケット本体のカーブ部分・接着芯を貼った前身頃見返し端にジグザグミシンorロックミシンをかけておく。



- 身頃の裏側にボア・ファー・フリース・キルトニット等を付けて2枚仕立てにすると暖か仕様になります。  
(画像サンプルはスタンドカラーverで、身頃表を裏起毛裏毛、身頃裏とスタンドカラー裏をファーで作製しています)
- 裏側もテンションのある生地を使用してください。
- 袖は裏生地が付かないのでどんでん返しではなく、身頃を2枚重ねて縫う仕様です。作り方にて簡単に説明しています。

※セーラーカラーパーツでの説明ですが、表襟・裏襟以外は共通です。  
 ※身頃を2枚仕立てにする場合は、後身頃×1枚と前身頃折り返し線で裁断したもの(表の身頃より前立て部分が2cm短いもの)×左右各1枚ずつを追加してください。

## 【セーラーカラー】縫い方

※共布で作製できます。  
 ※薄手の生地を使う場合は薄手のニット用接着芯を貼ると仕上がりがきれいです。



①表襟・裏襟を中表に合わせ、赤点線の箇所を縫い代1cmで縫い合わせます。角をななめに切り落とし、周りの縫い代を半分にカットしておきます。



②表に返し、アイロンで押さえます。

## 【ブルゾンカラー】縫い方

※パンテレコ・スパンフライス等のテンションの高い生地を使用します。



①短い方の辺を半分に折り、アイロンで押さえます。

## 【スタンドカラー】縫い方

※共布で作製できます。  
 ※前立て部分に2cm巾の接着芯を貼ってください。  
 ※裏襟にボアやフリース等を使うのもオススメです。



①表襟・裏襟を中表に合わせ、赤点線の箇所を縫い代1cmで縫い合わせます。縫い代は半分にカットしておきます。



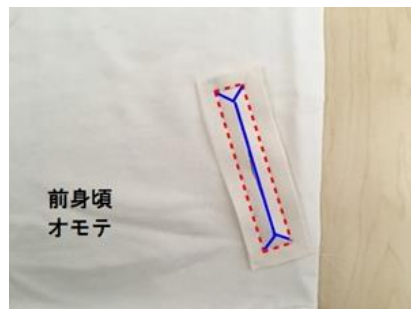
②表に返し、アイロンで押さえます。

## 【身頃の縫い方手順】

※各襟共通の作り方です。



- 1.前身頃表側の指定の位置にポケット補助布を中表に合わせ、補助布の1cm内側を縫います。  
(身頃を2枚仕立てにする場合は表側の生地のみ1~10までの工程を行ってください)



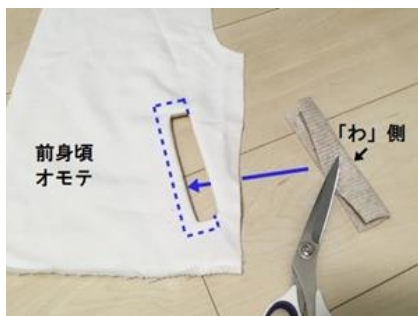
- 2.2枚重なった状態で、写真のように切り込みをいれます。  
糸を切らないように、なるべく角ギリギリまで切ると仕上がりがきれいです。



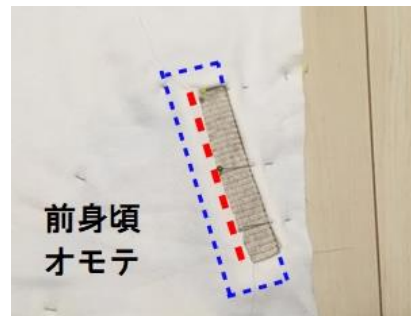
- 3.補助布を裏側に返し、アイロンで押さえます。



- 4.裏に返した補助布の下にある2枚の縫い代を半分にカットしておきます。



- 5.表側に返し、ポケット口布を半分に折り、「わ」が前身頃の脇側にくる向きで身頃裏へ重ね合わせます。



- 6.赤点線の位置(端から2mmくらいのところ)をステッチで押さえます。



- 7.裏側に返し、ポケット口布の縫い代とポケット補助布の縫い代を2枚一緒にジグザグミシンまたはロックミシンで端を処理します。  
その時に出た空環は、結ぶ・縫い目に入れ込むなどして処理しておきます。



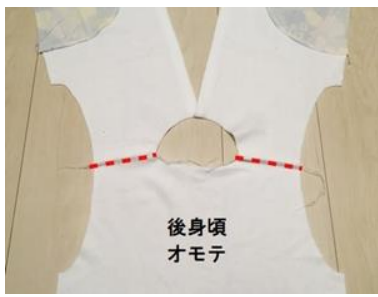
- 8.その上にポケット布を表側を下にして重ね、まち針などで固定します。



- 9.表に返し、ポケット口布を囲うように赤点線の位置をステッチで押さえます。



- 10.次にポケット布のカーブに沿ってステッチで押さえます。左右ともに同じ工程です。



11.前身頃と後身頃を中表に合わせ、肩を縫い合わせます。

端をそれぞれ処理しておきます。(身頃を2枚仕立てにする場合はこの時に前後身頃それぞれの裏側に重ねて4枚一緒に縫います)



12.身頃表側に襟裏側を合わせて縫い合わせ、端を処理します。



拡大図



※そのとき、それぞれの襟の合印を身頃の合印位置に合わせ、襟を挟むように前身頃端を2cm折り返して縫い合わせます。(身頃を2枚仕立てにする場合は裏側の身頃端を折り返し線まで合わせる。。次の工程でひっくり返すと、裏側の身頃が前立てに包まれた状態になります。)



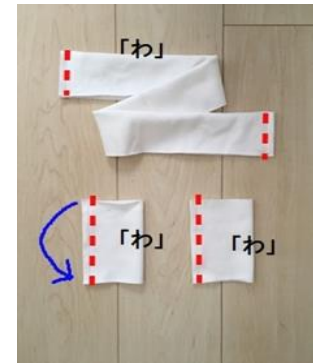
13.前身頃端を表に返し、先ほど縫った縫い代を表側からステッチで押さえます。(セラーカラーはステッチを推奨しますが、スタンドカラー・ブルゾンカラーはお好みで)



14.前後身頃と袖を中表に合わせ、縫い合わせます。端を処理します。



15.前後身頃を中表にし、袖先～裾まで縫い合わせ、端を処理します。



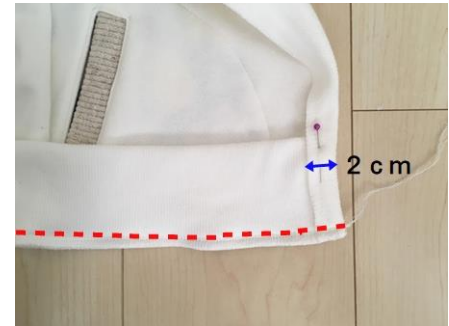
16.袖リブと裾リブを中表に畳み縫い合わせます。縫い代を割り、表側に半分折り返しておきます。



17.身頃表に裾リブを合わせ、縫い合わせて端を処理します。



拡大図



※前身頃端を2cm幅で折り返し、裾リブを折り返し線まで挟んで縫い合わせます。



18.お好みで前立て部分にステッチをかけます。(省略可)  
(身頃を2枚仕立てにする場合は裏生地を押さえるため必ずステッチをかけてください。)



19.裏返しにした袖に袖リブを入れ込み、縫い合わせて端を処理します。



20.表に返し、スナップボタンやボタンを付けて完成です。